

令和5年度 第2回兵庫県スポーツ推進審議会

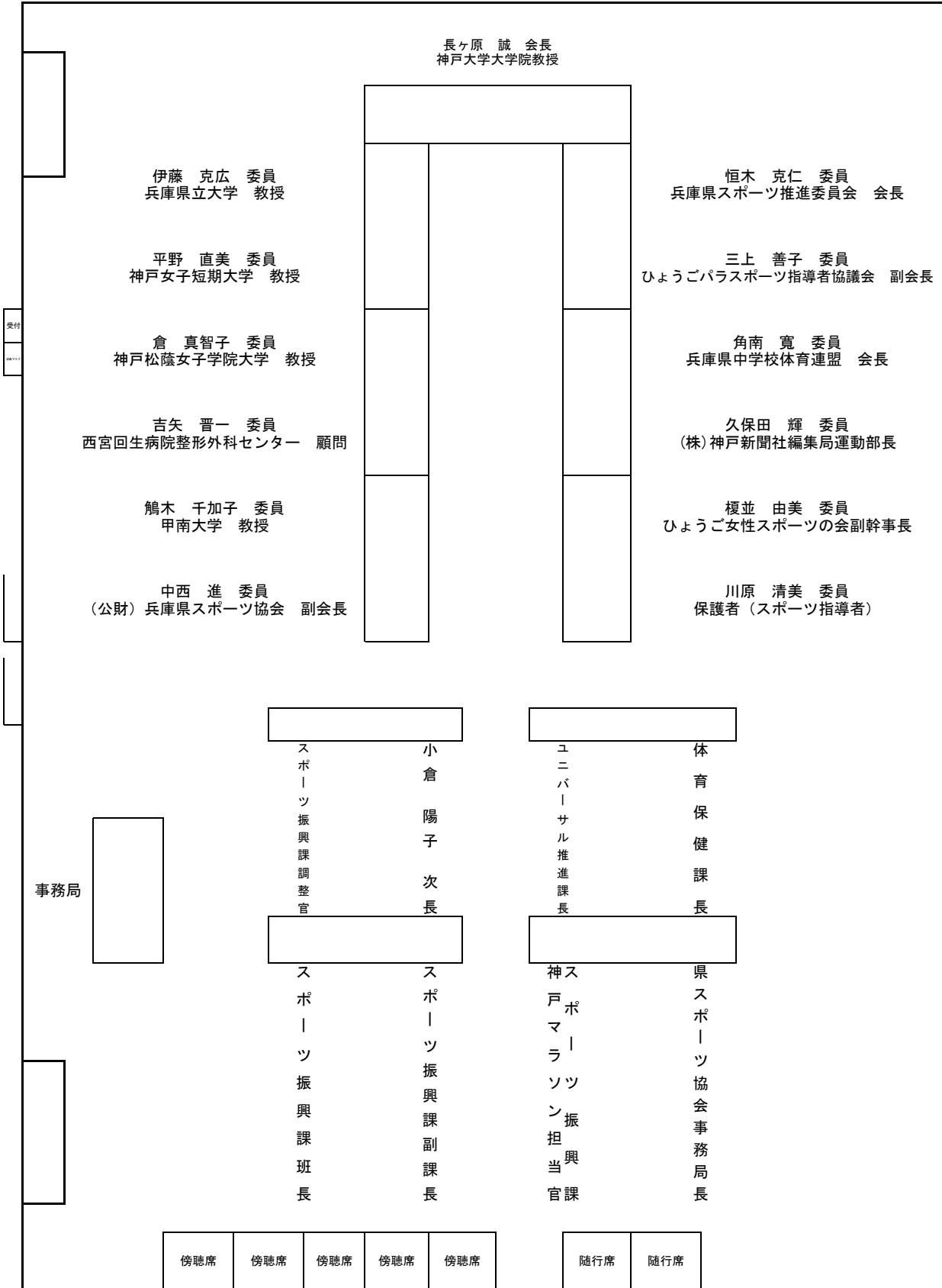
と き:令和6年3月13日(水)10:00~11:30
ところ:兵庫県民会館7F 「亀」



- 1 開会あいさつ【小倉 陽子 県民生活部次長】
- 2 委員・幹事紹介
- 3 令和5年度第1回兵庫県スポーツ推進審議会の議事録の報告
- 4 審議事項
令和6年度スポーツ振興団体に交付する補助金について
- 5 報告事項
 - (1) 第2期兵庫県スポーツ推進計画の令和6年度実施計画について
 - (2) 令和6年度の主要事業について
 - ・スポーツ振興課
 - ・体育保健課
 - ・ユニバーサル推進課
 - (3) HYOGO スポーツ新展開検討委員会について (別冊)
- 6 その他
- 7 閉会あいさつ【織邊 剛 スポーツ振興課スポーツ推進調整官】

令和5年度第2回スポーツ推進審議会 座席図

県民会館「亀」



兵庫県スポーツ推進審議会委員

(任期：令和5年9月1日～令和7年8月31日)

	分野	氏名	所属・役職名	出欠
1	スポーツ科学	長ヶ原 誠	神戸大学大学院・教授	○
2	スポーツ社会学	伊藤 克広	兵庫県立大学・教授	○
3	食育・栄養学	平野 直美	神戸女子短期大学・教授	○
4	子ども発達学	倉 真智子	神戸松蔭女子学院大学・教授	○
5	医科学	吉矢 晋一	西宮回生病院整形外科センター・顧問	○
6	コーチ学	鷗木千加子	甲南大学・教授	○
7	スポーツ 関係団体	中西 進	(公財)兵庫県スポーツ協会・副会長	○
8		恒木 克仁	兵庫県スポーツ推進委員会・会長	○
9	競技団体代表	小林 芳子	日本スケート連盟・強化副部長	欠席
10	障害者スポーツ	三上 善子	ひょうごパラスポーツ指導者協議会・副会長	○
11	学校 スポーツ関係	北中 睦雄	兵庫県高等学校体育連盟・副会長	欠席
12		角南 寛	兵庫県中学校体育連盟・会長	○
13	報道	久保田 輝	神戸新聞社・運動部長	○
14	公募委員	榎並 由美	ひょうご女性スポーツの会・副幹事長	○
15		川原 清美	保護者(スポーツ指導者)	○

○兵庫県スポーツ推進審議会規則

令和5年3月31日規則第10号

兵庫県スポーツ推進審議会規則をここに公布する。

兵庫県スポーツ推進審議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、兵庫県スポーツ推進審議会条例（昭和37年兵庫県条例第21号）第5条の規定に基づき、同条例に定めるもののほか、兵庫県スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）の組織及び運営に関して必要な事項を定めるものとする。

(委員)

第2条 委員は、次に掲げる者のうちから、知事が委嘱する。

- (1) 学識経験のある者
- (2) 関係団体を代表する者
- (3) その他知事が必要と認めた者

2 委員は、再任されることができる。

(会長)

第3条 審議会に、会長を置く。

2 会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

4 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第4条 審議会は、会長が招集する。

2 審議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(補則)

第5条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関して必要な事項は、審議会が定める。

附 則

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

3 令和5年度第1回兵庫県スポーツ推進審議会の議事録の報告

令和5年度第1回兵庫県スポーツ推進審議会 議事録

- 1 期日・場所 令和5年10月25日(水) 10:00~11:30
兵庫県民会館 「鶴」
〒650-0011 神戸市中央区下山手通4丁目16-3
- 2 出席者
(委員11名) 長ヶ原委員 伊藤委員 平野委員 吉矢委員
鳩木委員 中西委員 小林委員 三上委員
北中委員 久保田委員 榎並委員

欠席：倉委員 恒木委員 角南委員 川原委員

(行政関係者) 井ノ本部長(県民生活部)
相浦課長(福祉部ユニバーサル推進課長)
内藤課長(教育委員会体育保健課長)
織邊調整官(県民生活部スポーツ振興スポーツ推進調整官)

(陪席2名) 八瀬事務局長(兵庫県スポーツ協会)
新谷マラソン担当官(県民生活部スポーツ振興課)

(事務局) 森鼻副課長 宮本競技・生涯スポーツ班長
榎木主任スポーツ振興専門員 蓬野主任スポーツ振興専門員
- 3 開会あいさつ 井ノ本県民生活部長
- 4 委員紹介 出席者名簿順に自己紹介
- 5 会長選出 兵庫県スポーツ推進審議会規則第3条により会長を選出
- 6 会長あいさつ 長ヶ原会長
- 7 署名委員の指名 署名委員は、伊藤委員、小林委員に決定
- 8 報告事項
 - (1) 令和4年度第2回スポーツ推進審議会の議事録の報告
令和4年度第2回兵庫県スポーツ推進審議会の審議事項と報告事項の議事録について事務局より説明し、承認を受けた。
 - (2) 第2期兵庫県スポーツ推進計画 令和5年度実施計画について
スポーツ振興課スポーツ推進調整官が説明した。
 - (3) 令和5年度主要事業について
 - ① スポーツ振興課に関する主要事業について、スポーツ振興課スポーツ推進調整官が説明した。
 - ② 神戸マラソンについて、スポーツ振興課マラソン担当官が説明した。
 - ③ 体育保健課に関する主要事業について、体育保健課長が説明した。
 - ④ ユニバーサル推進課に関する主要事業について、ユニバーサル推進課長が説明した。

- (4) 令和5年度スポーツ振興団体に交付する補助金の状況について
スポーツ振興課副課長が説明した。

(5) HYOGO スポーツ新展開検討委員会について

検討委員会の目的や組織、今後のスケジュール等について、スポーツ振興課スポーツ推進調整官及び長ヶ原会長（HYOGO スポーツ新展開検討委員会座長）が説明した。

■ 委員の主な意見及び事務局の説明

＜第2期兵庫県スポーツ推進計画 令和5年度実施計画について＞

【長ヶ原会長】

- 昨年度も少し議論になったことであるが、統括指標の「成人のスポーツ実施率の向上」について令和4年度の現状値よりも令和5年度の目標値の方が下がっているが、これはどういう理由か。

【事務局】

- 昨年度の第2回会議時に話題になった内容であるが、新型コロナウイルス感染症の影響により手軽に体を動かす（短い時間のウォーキングなど）ことが数値に反映された可能性があり、感染症が落ち着いた今後も継続した数値になるか様子を見る必要もあるだろうとの御意見もいただき、目標値を変更していない。

＜令和5年度の主要事業について＞

(1) スポーツ振興課

【平野委員】※幼児の運動習慣づくり推進事業について

- 小学校・中学校などでは体力アップサポーターなどですすでに取り組みされているところではあるが、幼児期の段階の事業なので、保育士や保育園をどのように巻き込んで議論しているのかと、保育士養成学校において「運動」という概念はあまりないので、どのようなアイデアが挙げられているのか。

【事務局】

- 保育士については、県の保育協会会長に委員として参加していただいている。また、委員会においては、運動習慣を形成するうえでは、幼児期だけでなく、乳児期からも重要であるとともに、「運動遊び」といった体を動かすことを定着させていくことが重要であるとの御意見をいただいたことから、県として乳幼児期に共通して取り組めるプログラム等を検討する事業を進めている。

【長ヶ原会長】

- 幼児期をターゲットにしていることは、かなり特徴的である。以前の会議で、倉委員から幼児期の体力が、それ以後の子どもの体力につながっているとの説明もあった。兵庫県の児童の体力テストにおいて、8種目か9種目で全国平均を下回っていたかに思うが、それを改善するには、幼児期からの取組だけでなく、乳児期からの取組も重要である。

【鷗木委員】※競技スポーツ振興事業について

- 競技スポーツ振興事業について、具体的に説明してもらいたい。

【事務局】

- 世界で活躍できるアスリートの発掘・育成や、国民体育大会で活躍できる兵庫ゆかりの選手の育成、また進学等で他県に出た選手が、卒業後兵庫県において仕事と競技活動を両立できる基盤づくり等を、兵庫県スポーツ協会への補助事業や各競技団体などの関係機関と連携しながら取り組んでいる。

【鷗木委員】

- 兵庫県では、ジュニア期の育成システムとして、「ひょうごジュニアスポーツアカデミー」

という、多様な分野と関わりを持った育成システムがある。それが、今後廃止される方向で動いていると聞いている。アスリート発掘・育成において、その指導体制等で競技団体に頼る部分が多いことは理解できるが、「専門化の早期化」を助長するおそれがある、この事業の廃止について強い懸念を持っている。

【長ヶ原会長】

- これまで蓄積されたノウハウもあるので、事業の廃止により、その関係が断ち切れるのも問題であるので、何か継続できる方法はないか検討いただきたい。

【事務局】

「HYOGO スポーツ新展開検討委員会」という、県としてスポーツに関する新たな取組も始まっているので、そのことも含め今後、検討をしていく。

【八瀬事務局長】

- 兵庫県スポーツ協会としては、競技スポーツの推進として、競技団体からの要請もあり、競技団体ごとの競技者を増やす取組を中心として行っている。具体的には県内数カ所で、競技人口の少ない所謂マイナースポーツと呼ばれる競技も含め、競技団体と連携して、競技のスポーツ体験会を実施する。

(2) 体育保健課

【吉矢委員】 ※部活動の地域移行に係る安全面の確保について

- 部活動の地域移行については、スポーツ医学関係の学会で、安全面の確保について議論がされている。資料には体制整備や指導者の質の保障などが挙げられているが、安全面の観点からもしっかり検討をしてもらいたい。

【内藤課長】

- 部活動を学校管理下に置くのかどうかにより変わる部分もあるが、今後の国の動向を注視しながら、県としても教員の働き方改革と地域が担う部分等の課題を整理しつつ、安全面の確保について検討していく。

【長ヶ原会長】

- 移行の形態により、責任の所在も変わってくるが、現在の状況はどうなっているのか。

【内藤課長】

- 教育事務所単位での協議会を開催し、協議を進めている。協議会が、先週に開催されたばかりなので、現在情報を集約しているところであるが、令和8年度には土日の部活動について望まない教員には業務を行わないように検討している市町もある。

【伊藤委員】

- 尼崎市の情報を伝えると、現在3校をモデル校として選定し、何部を地域移行対象（モデル）とするか検討中である。また、特に問題となっているのが、指導者確保の問題であり、今後は、「コンソーシアム」という組織作りを進め、その中で指導者の派遣もできる形を目指していくのもよいかと考えている。新たな組織（コンソーシアム）を作るよりも、行政とスポーツ（体育）協会、スポーツ事業団、大学等が連携する組織作りのほうがハードルも下がり、組織しやすいかと感じる。この連携体が認められることで、地域のスポーツや部活動の地域移行の課題にも取り組みやすくなるかと思う。

(3) ユニバーサル推進課

【三上委員】 ※パラアスリート発掘・育成事業について

- マルチサポート事業のジュニア向けプログラムのスポーツ用具購入に関して、対象の種目や予算を教えてもらいたい。また、平日に行われるシニア向けプログラムが活発になると指導者が仕事を休んで行かなければならない現状がある。

【相浦ユニバーサル推進課長】

- ジュニア向けプログラムは今年度から開始しているが、用具がないことが一番の課題であ

り、県として補助していく。具体的には、手元に資料がないので、後日回答する。

【三上委員】※パラスポーツ実施環境の整備事業について

- パラスポーツの環境整備では、なかなか県内には拠点施設がないのが現状である。よって、拠点の整備よりも既存のスポーツクラブにパラスポーツ指導者を増やしていき、クラブ内でパラスポーツを普及していければよいのではないか。

【相浦ユニバーサル推進課長】

- 拠点については、今後「HYOGO スポーツ新展開」における、ユニバーサルスポーツの分科会を設置するので、その中で新たな拠点を整備するのか、今ある地域資源を活用するのかを検討していく。

【長ヶ原会長】

- 拠点については、海外の事例として、地域の施設を活用し、障害者の方も一緒に活動し、そこから拠点を作っていくことが多い。県内には、その候補となる施設も多いのではないか。

9 閉 会

【署名委員】

小林 芳子

伊藤 亮広

4 審議事項

令和6年度スポーツ振興団体に交付する補助金について

令和6年度スポーツ振興団体に交付する補助金について

〔根拠〕 スポーツ基本法（平成23年法律第78号）

第三十五条 国又は地方公共団体が第三十三条第三項又は前条の規定により社会教育関係団体であるスポーツ団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、国にあつては文部科学大臣が第九条第二項の政令で定める審議会等の、地方公共団体にあつては教育委員会（特定地方公共団体におけるスポーツに関する事務（学校における体育に関する事務を除く。）に係る補助金の交付については、その長）がスポーツ推進審議会等その他の合議制の機関の意見を聴かなければならない。

兵庫県スポーツ推進審議会条例（令和5年3月22日条例第24号）

第2条 審議会は、知事の諮問に応じ、次に掲げる事項を調査審議する。

(2) 法第35条の規定によるスポーツ団体に対する補助金の交付に関する事項
(単位：千円)

	スポーツ振興団体名	事業名・事業概要	補助率	R5補助金額	R6補助金額	増減額	所管課
1	公益財団法人兵庫県スポーツ協会	公益財団法人兵庫県スポーツ協会運営費補助 県民の体力の向上、児童・生徒の健全な発育及びスポーツ精神の高揚を図り、もって本県スポーツの振興、健康の増進、文化の高揚及び福祉の増進に寄与することを目的とする当該協会に対し、運営費の一部を補助する。	定額	60,001	72,371	12,370	スポーツ振興課
2	公益財団法人兵庫県スポーツ協会	競技スポーツ振興事業 第2期兵庫県スポーツ推進計画の基本理念のもと、県内スポーツ団体(プロスポーツ団体等)の有する人的財産(トップアスリートやトップコーチ等)を活用して国スポ選手等の競技力強化を図るほか、子どもの運動・スポーツが好きになる機会の創出を推進し、競技者のすそ野拡大を図ることによって中・長期的な競技力向上に取り組み、次世代を担うジュニアアスリートを育成し、トップアスリート層の拡大を図る。 また、競技団体の提案型による選手の発掘から育成・強化に対して補助することで、次回開催のオリンピックで活躍できる兵庫ゆかりのトップアスリートの輩出をめざす。	定額	198,317	194,933	△3,384	スポーツ振興課
3	公益財団法人兵庫県スポーツ協会	国民スポーツ大会兵庫県選手団派遣費補助事業 国民スポーツ大会の近畿地区の予選会である近畿ブロック大会と本大会に出場する監督・選手派遣費等を補助することにより、本県選手団の活躍を促進し、本県におけるスポーツ振興に大きく寄与することを目的とする。 【第78回国民スポーツ大会】 佐賀県 令和6年10月5日～10月15日 【第79回国民スポーツ大会冬季大会】 岡山県・群馬県・秋田県 令和7年1月～2月 ※岡山県：ショートトラック・フィギュア・アイスホッケー 群馬県：スピード 秋田県：スキー	定額	54,284	47,214	△7,070	スポーツ振興課

	スポーツ 振興団体名	事業名・事業概要	補助 率	R5 補助 金額	R6 補助 金額	増減額	所管課
4	公益財団法人 兵庫県スポーツ 協会加盟団 体等	スポーツ大会招致事業 （「はばタンスポーツ基金」活用事業） 質の高い競技や演技を観戦する機会を 県民に提供するため、のじぎく国体・大 会を契機に設置した「はばタンスポーツ 基金」を活用し、全国、国際規模の大会 等を招致する。 ・助成対象 （公財）兵庫県スポーツ協 会及び JSP0、JOC に加盟する団体が主 催または主管する国際大会や全国規模 の競技大会等競技の聖地化に向けて、 複数年連続（上限3回）に拡充（現行1 回） ・助成額 大会運営費（食料費、事 務局運営費、備品購入費等除く）に応 じた助成（1大会上限100万円）	定額	6,000	6,000	0	スポーツ 振興課
5	ひょうご女性 スポーツの会	「ひょうご女性スポーツの会」運営費補助 女性のスポーツ環境の向上、女性スポ ーツ人口の増加をめざし、女性の競技別 大会の開催や競技の枠を越えた研修会に 取り組むひょうご女性スポーツの会の活 動を支援する。	定額	4,300	3,500	△800	スポーツ 振興課
6	公益財団法人 兵庫県障害者 スポーツ協会	はばタン障害者スポーツ振興事業 （「はばタンスポーツ基金」活用事業） 障害者スポーツに親しむことができる 参加型イベントや県内各地で地元住民に より開催されるスポーツイベントの支援 等の事業を実施する。	定額	2,600	2,170	△430	ユニバーサル 推進課
7	社会福祉法人 兵庫県社会福 祉事業団	西播磨総合リハビリテーションセンタースポーツ事業推 進費補助 障害者スポーツの振興及びスポーツを 通じたりハビリテーションの推進を図る ため、西播磨総合リハビリテーションセ ンター内の「ふれあいスポーツ交流館」 において実施するスポーツ事業を支援す る。	定額	36,642	36,543	△99	ユニバーサル 推進課
			計	362,144	362,731	587	

5 報告事項(1)

第2期兵庫県スポーツ推進計画の令和6年度実施計画について

「第2期兵庫県スポーツ推進計画」の目標達成状況について

具体的な目標令和5年度目標値について達成状況を4段階で評価
 ◎：目標値を達成100%以上
 ○：目標値を概ね達成90%以上～100%未満
 △：目標値をやや下回った70%以上～90%未満
 ▲：目標値を下回った70%未満
 ※：実績値未確定

総括指標：**総** 関連指標：**関**

政策目標1 子ども・ユーススポーツの推進

項目		R4 実績	R5 目標	R5 実績	R5 達成状況		
総	運動・スポーツが好きな子どもの増加	86.3%	86.7%	86.1%	99.3%	○	
関	保護者等と一緒に参加できる スポーツイベントを開催する自治体数の増加	26 市町	30 市町	30 市町	100.0%	◎	
関	スポーツや運動を週60 分以上実施する児童・ 生徒の割合の増加	小5 男子	91.7%	92.5%	91.2%	98.6%	○
		小5 女子	85.9%	87.6%	84.1%	96.0%	○
		中2 男子	93.2%	94.1%	89.9%	95.5%	○
		中2 女子	82.3%	83.2%	74.1%	89.1%	△
関	ユース世代中学生・高校生を対象に 一貫した育成制度を有する競技団 体数の増加	33 団体	34 団体	33 団体	97.1%	○	

政策目標2 生涯スポーツの推進

項目		R4 実績	R5 目標	R5 実績	R5 達成状況		
総	成人のスポーツ実施率の向上	67.8%	65.8%	61.0%	92.7%	○	
関	成人の週1回以上の スポーツ実施率の向上	男性	65.8%	68.1%	57.3%	84.1%	△
		女性	69.5%	63.5%	68.3%	107.6%	◎
関	コンソーシアムを組織し、地域スポーツの活 性化に取り組む自治体数の増加	1 市町	18 市町	5 市町	27.8%	▲	
関	過去1年間のスポーツの観戦者の割 合の増加	31.9%	32.9%	31.7%	96.4%	○	

政策目標3 競技スポーツの推進

項目		R4 実績	R5 目標	R5 実績	R5 達成状況		
総	国民スポーツ大会をはじめ国内外の大会で顕著な成績をおさめる兵庫ゆかりの選手の増加	489 人	467 人	537 人	115.0%	◎	
関	国民スポーツ大会で入賞（種別）する競技団体数の増加	21 団体	22 団体	21 団体	95.5%	○	
関	（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者について	指導者の数	1,130 人	1,100 人	1,579 人	143.5%	◎
		女性指導者の割合の増加	30.8%	25.5%	22.0%	86.3%	△
関	Team HYOGO アスリートキャリアフォーラム就業支援へ参加する企業数の増加	20 社	16 社	15 社	93.8%	○	
関	選手の育成・強化に医・科学スタッフを活用する競技団体数の増加	19 団体	26 団体	18 団体	69.2%	▲	

政策目標4 障害者スポーツの推進

項目		R4 実績	R5 目標	R5 実績	達成状況	
総	障害者スポーツの参画人口の拡大	20,508 人	48,000 人	※		
関	一般競技団体や実業チームとの交流会開催数の増加	9 回	13 回	※		
関	公認障害者スポーツ指導者数の増加	1,270 人	1,400 人	1,217 人	86.9%	△
関	障害者スポーツ応援協定締結団体数の増加	89 団体	91 団体	89 団体	97.8%	○

5 報告事項(2)

令和 6 年度の主要事業について

スポーツ振興課

スポーツによる地域活性化の推進

- 1 **新** プロスポーツクラブと連携した地域活性化プロジェクト（スポーツ振興課） 60,000 千円
【ふるさとひょうご寄附金】

プロスポーツクラブとの連携により、プロスポーツの試合観戦招待やスポーツ教室を開催するなど、地域活性化事業を展開する。

【実施内容（例）】

- ・子どものプロスポーツ試合観戦招待
- ・選手・スタッフによるスポーツ教室の開催
- ・スポーツ関連イベントの開催

- 2 **新** 子ども・ユーススポーツ推進プロジェクト（スポーツ振興課） 5,000 千円
【ふるさとひょうご寄附金】

ふるさと納税の活用により、子どもを対象としたスポーツ教室やイベント等の開催など、子どもたちがスポーツに触れる機会を充実する。

【実施内容（例）】

- ・ゴルフ場を貸し切り、親子でコースを回るイベントを開催

- 3 **神戸マラソン2024 の開催**（スポーツ振興課） 68,883 千円

県民のスポーツ振興を図るとともに阪神・淡路大震災の復興支援への感謝や兵庫・神戸の魅力を国内外に発信するため、「神戸マラソン2024」を開催する。

- (1) 開催日 令和6年11月17日(日)（予定）
(11月15日(金)・16日(土)ランナー受付及びマラソンEXPO)
- (2) コース スタート(神戸市役所前)～折り返し(明石海峡大橋の西方(垂水区西舞子))～フィニッシュ(ポートアイランド(市民広場付近))
- (3) テーマ 「感謝と友情」
- (4) 出走者 約2万人

競技スポーツ・生涯スポーツの推進

1 第2期兵庫県スポーツ推進計画（スポーツ振興課）

「第2期兵庫県スポーツ推進計画」（令和4年3月策定）に基づき、「する・みる・ささえる」スポーツへの参画を通じて、「躍動する兵庫」の実現をめざし、子ども・ユーススポーツ、生涯スポーツ、競技スポーツ、障害者スポーツの推進に取り組む。

2 競技スポーツ振興事業（スポーツ振興課）

194,933 千円

競技団体との連携のもと、国体選手等の強化や、次世代を担うジュニアアスリートの育成、子どもの運動・スポーツ機会創出等に取り組み、トップアスリート層の拡大を目指す。また、これらの活動を支援する指導者の養成にも取り組む。

3 幼児の運動習慣づくり推進事業（スポーツ振興課）

320 千円

第2期スポーツ推進計画に基づき、運動・スポーツが好きな子どもの増加を図るため、幼児期からの運動習慣の基盤づくりに取り組む。令和5年度は専門家による推進会議を設置し、課題等の分析を実施するとともに、保護者等への普及・啓発の方策を検討する。

4 スポーツ大会招致事業（スポーツ振興課）6,000 千円【はばタンスポーツ基金】

質の高い競技や演技を観戦する機会を県民に提供するため、のじぎく国体・大会を契機に設置した「はばタンスポーツ基金」を活用し、全国、国際規模の大会等を招致する。

- (1) 助成対象 （公財）兵庫県スポーツ協会及びJSP0、JOC に加盟する団体が主催または主管する国際大会や全国規模の競技大会等
競技の聖地化に向けて、複数年連続（上限3回）に拡充（現行1回）
- (2) 助成額 大会運営費（食料費、事務局運営費、備品購入費等除く）に応じた助成（1大会上限100万円）

5 「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト事業（スポーツ振興課）2,639 千円

【勤労者福祉基金】

「スポーツクラブ21 ひょうご」（以下SC21）について、スポーツ大会等を通じてクラブの連携を促進するとともに、活動の活性化等と自主自立に向けた取組を支援し、「スポーツ立県ひょうご」の実現に取り組む。

(1) スポーツ立県ひょうご推進会議の開催

対 象：SC21 地区代表者、県スポーツ推進委員会、県スポーツ協会、県障害者スポーツ協会、県レクリエーション協会、ひょうご女性スポーツの会、競技団体、市町スポーツ所管課担当者 等

内 容：「スポーツ立県ひょうご」の実現に向けた課題共有・情報交換

(2) 全県スポーツサミットの開催

対 象：SC21 代表者、市町体育・スポーツ協会代表者、市町行政代表者、地域スポーツ関係者 等

内 容：情報交換、事例発表 等

(3) 「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト

SC21 が各地域で、だれもが生涯にわたってスポーツを楽しむことができる環境づくりを創出

- ①大学や企業と連携したスポーツイベント等の開催
- ②障害者スポーツと連携したスポーツ教室等の開催
- ③親子で行うスポーツ大会やスポーツフェスティバル等の開催

6 ひょうご女性スポーツの会の活動支援（スポーツ振興課）	3,500 千円
-------------------------------------	-----------------

女性のスポーツ環境の向上、女性指導者の育成、女性スポーツ人口の増加をめざし、女性の競技別大会の開催や競技の枠を越えた研修会に取り組むひょうご女性スポーツの会の活動を支援する。

- (1) 総会・総合開会式 講演及び競技別大会総合開会式の開催
- (2) 競技別大会 各競技団体による冠称大会の開催
- (3) 女性指導者育成のための研修会への参加
- (4) 京都女性スポーツの会との交流
- (5) 女性スポーツ参画促進イベントの開催

7 地域スポーツ活性化支援事業（スポーツ振興課）	1,200 千円
---------------------------------	-----------------

県民全体のスポーツ実施率向上を図るため、市町単位でコンソーシアムの設置を促進し、スポーツイベント開催に要する経費を支援する。

- (1) 補助対象 市町で設置されたコンソーシアム

コンソーシアム = 市町内の行政を含む、スポーツ団体、大学、民間事業者など複数の団体から成る共同事業体

- (2) 補助金額 100 千円
- (3) 補助率 経費の1/2 ※県：市町 = 1：1
- (4) イベント例 親子等でスポーツ体験会、種目別選手権大会 等

8 ワールドマスターズゲームズの開催準備（スポーツ振興課）	4,964 千円
--------------------------------------	-----------------

2027 年5月に開催されるワールドマスターズゲームズ（WMG）について、既存の競技大会に「WMG」の冠を付けて開催し、引き続き大会機運の維持や醸成に取り組む。

■「ワールドマスターズゲームズ」の概要

- (1) 主催 (公財) ワールドマスターズゲームズ2021 関西組織委員会
- (2) 共催 (公財) 日本スポーツ協会、(公財) 日本パラスポーツ協会
- (3) 開催時期 2027 年5月
- (4) 開催場所 兵庫県を含む関西地域
- (5) 開催競技 公式競技35 競技59 種目 (うち兵庫県開催11 競技15 種目)
- (6) 参加者 目標5万人 (国内3万人、国外2万人) (概ね30 歳以上)

9 関西マスターズゲームズ in HYOGO の開催事業（スポーツ振興課） 5,579 千円

ワールドマスターズゲームズ2021 関西を機に醸成してきたスポーツ機運を継続し、さらにすそ野を広げるため関西マスターズゲームズを開催する。

(1) 総合開会式の実施

開催日 令和6年4月27日（土）

場 所 県民会館（予定）

(2) 競技別大会「関西マスターズゲームズ」の開催

時 期 令和6年4月～令和7年3月

場 所 県内各市町

種 目 グラウンド・ゴルフ等 計44 種目（予定）

(3) 県民ふれあい大会体験会の開催

開催日 令和6年11月24日（日）

場 所 しあわせの村（予定）

種 目 ペタンク等 計18種目

体育保健課

「健やかな体」の育成

体力・運動能力向上の推進

1 「体力アップひょうご」サポート事業（体育保健課）9,388千円【一部国庫】

小学生の体力・運動能力の向上に取り組むため、地域の指導者等を活用し、運動への興味・関心を高め、運動習慣の定着等に繋げるとともに、県内児童生徒の体力・運動能力の調査・分析を実施する。

- (1) 「体力アップサポート専門家会議」の設置（年3回）
内容：体力・運動能力の現状及び課題の分析・検討 等
- (2) **新**体力アップ実践研究モデル事業の実施
内 容 児童生徒の内発的動機付けに繋げる授業改善に取り組むモデル校を選定し、研究成果を県内他校へ共有する。
 - ①新体力テストの個別課題に関する実践研究
モデル校：6地域各1校（小・中学校合計6校）
 - ②ICTを活用した授業改善に関する実践研究
モデル校：6地域各2校（小・中学校合計12校）
- (3) 体力アップサポーターの派遣
 - ・派遣校数 57校
 - ・派遣者 公立中学校・高等学校の保健体育科教員、民間スポーツクラブの指導者、地域の外部指導者 等
 - ・派遣回数 1校あたり12回
 - ・内 容 体育授業及び学校体育活動における専門的な指導
小・中・高の体育における円滑な接続を目指し、中・高の教員派遣
新体力テスト測定項目の児童への指導及び教員の測定支援
- (4) 「体力アップスクール表彰」の実施
体力向上に積極的に取り組み、成果を上げた公立小・中学校を表彰
- (5) 兵庫県体力・運動能力調査（公立小・中・高等学校）の実施
- (6) 体育授業等の充実・高度化促進のためのアスリート派遣の実施
内容：アスリート・パラアスリートを学校の体育授業に派遣

部活動改革の推進

1 **新** 中学校部活動改革推進プロジェクト（体育保健課・義務教育課）

将来にわたり子どもたちが地域スポーツクラブ活動及び地域文化クラブ活動に継続して親しむことができる機会の確保や教員の働き方改革を進めていくため、中学校における休日の部活動の地域連携・地域移行に向けた環境整備等を推進する。

(1) 新中学校部活動地域移行推進実証事業**68,845千円【国庫】**

令和8年度に向け、地域移行推進計画等を部活動地域移行推進会議等において検討するとともに、希望する市町組合における国の「地域スポーツクラブ活動体制整備事業」を活用した地域連携・地域移行に向けた実証事業を実施し、地域ごとの様々な課題等を検証する。

－県の取組－

- ① 部活動専門家会議の実施（年3回）
 - ・ 内 容 地域移行推進について総括的な判断や協議
- ② 部活動地域移行推進会議の実施（年2回）
 - ・ 内 容 兵庫県における課題解決に向けた支援策の検討
- ③ 連絡協議会の実施（年6回）
 - ・ 内 容 広域的連携に向け、教育事務所単位で課題・好事例を共有
- ④ コーディネーターの配置
 - ・ 内 容 関連団体等への周知、県域団体を通じた受入団体の発掘
エリア内での市町連携体制構築の支援・運営団体と市町との
マッチング作業 等
- ⑤ 県立中等教育学校における実証事業（※）の実施
 - ・ 対 象 県立芦屋国際中等教育学校（前期課程）
 - ・ 内 容 土日に地域指導者を派遣

－市町の取組－

実証事業の展開

【運動部】 県内 20 市町 150 クラブ（R6 予定）

【文化部】 県内 10 市町 21 クラブ（R6 予定）

(2) 拡中学校部活動指導員配置事業**69,876千円【一部国庫】**

公立中学校の部活動指導を担当する教員の業務負担軽減や、専門的な技術指導を受けられない生徒への指導のため、部活動指導員の配置を拡充する。

- ・ 業務内容 部活動の顧問として、単独での指導や大会引率等
- ・ 配置市町 33市町組合
- ・ 負担割合 国1/3、県1/3、市町1/3

2 県立学校部活動指導員配置事業（体育保健課）**14,984 千円**

県立学校の部活動指導を担当する教員の業務負担軽減や、専門的な技術指導を受けられない生徒への指導のため、部活動指導員を配置する。

- ・ 業務内容 部活動の顧問として、単独での指導や大会引率等
- ・ 配置人数 55人/年
- ・ 指導回数 70回/年（週2回：平日1回、休日1回）

健康教育・食育の推進

1 スクールヘルス推進事業（体育保健課）

3,195千円【一部国庫】

- (1) 学校における現代的な健康問題の解決
アレルギー疾患や心の問題などの児童生徒の心身の健康課題に対応するため、教職員の資質向上等に取り組む。
 - ・ 健康教育研修会の開催
内容：心身の健康問題を抱える児童生徒の理解、学校・家庭・地域が連携した支援のあり方 等
 - ・ 学校におけるアレルギー疾患対応マニュアルの周知徹底 等
- (2) 薬物乱用防止教育の推進
学校における薬物乱用防止の教育を実施するため、講師となる教職員等の資質向上を図るとともに、すべての中学校・高等学校で薬物乱用防止教室を実施する。
 - ・ 薬物乱用防止教室の実施
内容：薬物乱用の実態や学校における薬物乱用防止教育 等
- (3) 経験豊富な退職養護・栄養教諭の派遣
心身の健康問題について、特別な配慮や医療機関との連携を必要とする子どもの増加に対応するため、経験豊富な退職養護教諭等を学校へ派遣し、実地指導や助言を行う。
また、経験の浅い栄養教諭に対する研修体制の充実を図るため、経験豊富な退職栄養教諭を学校等へ派遣し、実地指導や助言を行う。
 - ① 退職養護教諭の派遣（年9回）
派遣人数 7名
内 容 保健室登校など個別対応が求められる子どもへの対応方法等の助言や関係機関等とのコーディネート 等
 - ② 退職栄養教諭の派遣（年9回）
派遣人数 のべ20名
内 容 給食設備の状況に応じた学校給食衛生管理基準に基づく適切な衛生管理についての指導助言 等

2 がん教育総合支援事業（体育保健課）

1,000千円【国庫】

学校教育全体の中でがん教育を実施するため、指導内容や学校での取組について検討する。

- (1) がん教育に関する協議会の開催（4回）
 - ・ 構成 学識経験者、医師会代表、学校保健関係者、行政関係者
 - ・ 内容 がん教育の計画及び指導、モデル校の取組検証及び次年度計画への反映
- (2) 学校保健関係者に対する研修会の開催（1回）
- (3) モデル校の設置
 - ・ 対象 6校（小・中・高等学校各2校）
 - ・ 内容 専門家等による講演会、生徒意識調査 等

3 学校教育活動全体で行う食育の推進（体育保健課）

518千円

学校給食・食育支援センター等と連携し、学校の教育活動全体を通じた食育や小・中・高の切れ目のない食育を実施する。

- (1) 教職員研修会の開催（年1回）
- (2) 食育実践推進に関する有識者会議の開催（年3回）
 - ・ 構 成 員 学識経験者、学校関係者 等
 - ・ 内 容 教育活動全体を通じて行う食育実践方法の検討・周知 等
- (3) 学校給食衛生管理推進研修会の開催（県内5地区）

4 拡 地場産物を活用した学校給食の推進（体育保健課）

学校給食における地産地消の推進、学校給食で県産農畜水産物の活用を図るため、全国学校給食週間を「兵庫のめぐみ学校給食事業」と位置付けるとともに、栄養教諭を対象とした研修を実施する。また、食育推進校（学校給食・食育支援センター連携事業）において、有機農産物の活用について実践研究に取り組む。

- (1) 研修会の実施
 - ・ 対 象 栄養教諭
 - ・ 内 容 本県の農畜水産業についての理解
農畜水産物の活用のための方策
有機農業を含む環境への負荷を低減する農業についての理解
- (2) 有機農産物の活用についての実践研究
 - ・ 食育推進校 7校
 - ・ 内 容 学校給食における有機農産物や環境に配慮して生産された農産物の活用

ユニバーサル推進課

全ての人がある能力を発揮して、多様な社会参加ができる社会

文化芸術活動、スポーツ等を通じた、高齢者、障害者及び外国人をはじめ、様々な人との交流の促進

1	新 ユニバーサルなスポーツ施設調査・検討事業	1,042千円
	パラスポーツの振興を図るため、県内スポーツ施設の現状調査等を実施し、障害者・健全者がともに使いやすい「ユニバーサルなスポーツ施設のあり方」を検討	
2	新 神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会への支援	100,000千円
	東京2020パラリンピック競技大会で醸成された機運やレガシーを絶やさずパラスポーツの振興を図るため、神戸で開催される世界パラ陸上競技選手権大会への支援を実施	
3	パラスポーツ拡大推進プロジェクトの展開	36,848千円
	神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会のレガシーを継承するため、パラアスリートとの交流やパラスポーツ体験事業、次代を担うパラアスリートの発掘育成の取組を引き続き実施	
4	兵庫ユニバーサルマラソンの開催	1,033千円
	神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会のレガシーを継承し、障害者の社会参加促進とパラスポーツの振興を図るため、県立公園等において、車いすロードレース、ユニバーサルリレー、パラスポーツ体験会を複合的に実施	
5	障害者のじぎくスポーツ大会の開催	5,038千円
	障害者スポーツの振興、障害者の社会参加、県民の理解促進を目的として障害者のじぎくスポーツ大会を開催	
	・陸上競技、水泳、卓球、フライングディスク等	
6	全国障害者スポーツ大会選手派遣・育成事業	21,074千円
	令和6年10月に佐賀県で開催される第23回全国障害者スポーツ大会への選手団の派遣及び選手の育成	
7	はばタン障害者スポーツ振興事業	2,170千円
	障害の有無や程度に関係なく障害者スポーツに親しむことができる参加型イベントや県内各地で地元住民により開催されるスポーツイベントの支援等の事業を実施	

8 障害者スポーツ拠点施設におけるスポーツ事業の実施**36,543千円**

スポーツを通じて障害者の社会参加を図るとともに、県民相互の交流を促進するため、県のリハビリテーションセンター内にあるスポーツ交流館において、スポーツ教室の開催や予防的リハビリテーションの普及、指導者の養成等を実施

○県立障害者スポーツ交流館（西区）：スポーツ大会・研修会等の開催

○ふれあいスポーツ交流館（たつの市）：スポーツ教室・大会・講習会等の開催

9 障害者（児）スポーツ等応援プロジェクト事業**995千円**

ふるさとひょうご寄附金を活用して障害者スポーツの競技用具を購入することにより、障害者アスリートを支援。また、障害児が新たな経験・体験をする機会を確保するため、障害児入所施設における備品等の購入費や活動経費等を助成

5 報告事項(3)

HYOGO スポーツ新展開について(別冊資料参照)